

みなみかぜだより

平成二十九年
九月号

敬老の日



カラオケ大会

八月二十一日(月)にすみれ通りの利用者様とカラオケ大会を行いました。カラオケ大会を盛り上げる為に職員が踊りを披露し、利用者様の手拍子に合わせて踊り始めると笑いをされる方や手を振り踊る方もいました。カラオケに入ると自分から進んで「歌ってあげるから」とマイクを持ち、自分で作詞された歌(田代おはら節)を披露して下さいました。二十分程の短い時間ではありましたが皆様楽しんでいました。

三時のおやつではかき氷を提供させていただきますました。小豆、苺、レモンの三種の味を用意し、「こいがよか」「こんたすかん」と楽しそうに選んでいます。一口食べると「こんたうんめ」「何年ぶりに食べたらかい」と久しぶりに食べたかき氷に舌鼓をうち、今回の企画を笑顔で参加され楽しんでました。今後も利用者様全員が楽しめる企画を考えていきたいと思えます。



お茶会

八月二十三日(水)の午後よりゆり通りにてお茶会を開きました。今月はプリンアラモードとお茶を出す事にしました。今回のプリンアラモードはプリンの周りにキウイとリンゴとバナナをのせて上にホイップクリームと棒状のお菓子を挿して盛り付けてありました。利用者様の「美味しそう」の一言から始まり、盛り付けがきれいで見とれてしまい「どこから手をつけていいのかわからない」などの嬉しい声が飛びかき喜んでおられました。職員にも好評で、「食べてみたい」「家でも作りたい」などの声が聞かれ、また機会があったら計画を立てたいと思えました。



デイケア誕生会

デイケアでは八月十九日(土)、誕生会の催しとしてかき氷を行いました。職員が一生懸命氷を削って色とりどりのかき氷が出来上がりました。「赤のがいい」とか「小豆を入れて」とか、自分の好きな氷をリクエストされる方もおり皆さん本当に嬉しそうなお表情が見られました。わが子が小さかった時はかき氷を食べさせていたけど自分ではなかなか食べることがなかったという方もおり、ほんとに久しぶりだと喜んでおられました。中にはおかわりをすることもいて楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



ソーメン定食祭り

八月三十日(水)十一時よりチューリップ通りの利用者様を対象に、行事イベント「ソーメン定食祭り」を開催しました。ソーメン定食は普段の食事よりもボリュームがあり、完食は難しいかなと思っていました。皆様殆んど残さず召し上がられていました。夏といえば、ソーメン。皆様、夏の風物詩を堪能され、食べ終えた利用者様からは「美味しかった」との声が聞かれました。



救命講習

今回、みなみかぜに異動になってから初めての「心肺蘇生」の研修会に参加しました。南部消防署より職員三名が来所され、「胸部圧迫法」「人工呼吸法」「AED」の順番で約一時間の講習でした。病院勤務だと救命時の医療器具は備わっており、なかなか心肺蘇生などは実施出来ず、今回の研修で、外出時等の救命方法を改めて学ぶことが出来ました。

